

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（店 長）	単価の動き	・オリンピックイヤーで薄型テレビやDVDレコー ダーの売上が順調なほか、エアコン等の季節商品の売 上も良かった。
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・総額表示の影響による客の買い控え傾向が少なくなり、来客数が徐々に増加している。
		スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・既存店の来客数を前年比で見ると、3か月前の 102.3%から102.8%へと、微増ながら良くなっている。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・大画面の薄型テレビやDVDレコーダーの売上が順 調である。
		家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・薄型テレビの売上が堅調なことに加え、今月は蒸し 暑い日が続いたことから、エアコンや冷蔵庫も良く売 れている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・小型の新型車発売効果から、来客数が非常に増えて おり、販売台数も前年をはるかに上回っている。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・中元シーズンを迎え、ビールを中心とした飲物がよく 売れている。
	旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・グループ旅行、団体旅行とも、順調に増加した。特 に、昨年はほとんどなかったハワイ、グアムを中心と した海外旅行の申込が多かった。 ・夏休みの家族旅行の相談も増加してきており、東京 への航空券、ホテルパック商品等も順調である。	
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・年明けから選挙一色の状況が続いて、消費景気に微 妙な悪影響を与えているような気がする。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・夏物の立ち上がりであるにもかかわらず、来客数が 非常に少ない。3か月前も厳しかったが、今月も同様 である。
百貨店（総務担 当）		お客様の様子	・売上全般は非常に苦戦しているが、ボーナスが出た 一時期だけ売上が上昇した。欲しくてもボーナスが出 るまで、何か月も買物を待っていた客が多いというこ とである。 ・旅行用品のスーツケースなど、目的買いは価格が多 少高めでも迷わずに買うという傾向がある一方、衝動 買いは非常に少ない。	
百貨店（営業担 当）		お客様の様子	・例年、催事期には、売上の一部に上昇基調がみられ たが、本年度の父の日に関してはその動きがなかっ た。また、クリアランスの前倒しというような状況に もかわらず、買い控え傾向が如実に表れている。	
百貨店（営業担 当）		それ以外	・前年同月と比較して、売上高は前年を維持し、来客 数は前年を下回った。ここ数か月の傾向どおり、 ファッション関連商品が苦戦し、特に婦人用品の落ち 込みが目立った。 ・紳士用品など衣料品全般も低調で、ブランド商品群 も全般的に不調に終わった反面、食品が前年増で推移 した。	
スーパー（企画 担当）		単価の動き	・客数・客単価とも2ポイントぐらい前年と比べ下落 した。昨年より気温は高いが、夏物衣料品等の動きが 良くない。その他、牛、鶏肉もそれぞれ前年より10% 下落した。	
スーパー（営業 担当）		単価の動き	・今年は昨年のような冷夏でなく平年並みの気温であ るが、夏物衣料品は昨年と比べて9割程度の単価の物 しか売れていない。	
コンビニ（店 長）		販売量の動き	・6月は天候に左右される月であるが、晴れて気温が 上がった日でも、さほど売上は伸びない。3か月前と 同じような感じで推移している。	
衣料品専門店 （経営者）		来客数の動き	・今月はボーナスに期待していたが、前半の雨や台風 があり、商品的には、昨年かなり好調だった若者向け のレディースのパンツが低調に終わったため、全体の 売上の伸びはそうでもなかったが、単価的には良くな かった。	
乗用車販売店 （営業担当）	来客数の動き	・新車購入の情報収集のために、広告宣伝料を増やし ているが、集まる情報量が少なく、前年を維持するの が精一杯である。		

	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・夏物のバーゲンを開始し、来店客数はますますであるが、今までと比べると、1人当たりの買上点数がかなりシビアになっている。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	販売量の動き	・今月は全体を通して、売上は大きく落ち込み、底がみえてこない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・台風の影響などから雨の日が多く、販売量が少し減った。さらに、1人当たりの買上個数は昨年の半分程度まで落ち込んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数が15%程度落ち込んでいる。特に平日は来客数が少ない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・花博など他の地域に客を取られて、来客数が減っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暑くなってきた、客が増えることを期待したが、増加してこない。特に病院関係、会社関係者の利用が少ない。また、週末は飲みに出る人はいるが、平日はガラガラの状態である。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・業務用の動きが大変悪く、依然として景気は底をはっている感じである。
		タクシー運転手	お客様の様子	・定期的にタクシーを利用してくれる病院への通院客や夜の街の従業員の利用が減っている。また、夜に飲みに来る来客数も相当減っている。客からは、「残業が減った」、「小遣いも減った」という声も今年に入って随分聞かれる。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	化学工業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・荷動きは好調であり、今後の受注量も安定的に確保できている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ダイオード関係の仕事をしている取引先があるが、その会社は非常に繁忙な状態であり、設備投資が盛んである。同社の設備関連の仕事に携わっている関係で、売上は増加傾向にある。
	変わらない	公認会計士	取引先の様子	・最近では、設備投資や不動産投資に関する相談が増えてきている。取引先のマインドが少し明るくなった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先からの商品の値下げ要請は強く、何とかしのいで、現状の価格を維持している。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きは前年比でほぼ横ばいである。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・都市部を販売先、取引先とする一部の企業は業績が回復しているが、全体的には販売量、単価は下落しており、特に販売量は大幅な下落となっている。
	やや悪くなっている	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・景気回復の気配を感じても、継続性が弱い。好不況のスパンが極端に短くなった感じを受ける。特にこの傾向が不動産、家電量販店などで強い。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に消費税の総額表示になって以降、消費は落ち込んでいる。また、家庭紙関係の生産設備増設の影響も加わり、現在は生産過剰気味である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業の端境期の影響から、取引先の仕事量が低下し、購買意欲が後退している。それに伴い新規の商談が少なくなっている。さらに、関東地区のトラック需要の落ち込みが続いており、その影響も出ている。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・公共工事は案件が極端に少なくなっており、金額の大小にかかわらず、受注競争が激しく、落札しても利益が出ない。
	悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・5月に引き続き、物流量が減少している。特に食品関係が大きく前年割れとなっている。
雇用 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		-	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べ、9か月連続して増加した。卸小売業、サービス業で大幅な増加がみられ、製造業でも持ち直しの動きがみられる。また、県外からの進出企業による大口求人もあった。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・職種によっては、求人があっても供給が不足することがある。
	変わらない	求人情報誌制作会社（従業員）	求人数の動き	・各企業とも求人数が少なくなっている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・今月は求人数がやや増加しているが、相変わらず派遣業、業務請負業の求人増加が目立っており、正社員の求人自体の変化はみられない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は、前年同月比で2.5ポイントのマイナスとなった。新規求職者も前年同月比でマイナスとなったが、有効求人倍率も3か月連続で前月比マイナスの0.49倍となった。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・企業からの求人ニーズは比較的好調に推移しているが、求人をサポートするホームページの作成、印刷物等の受注が落ち込んでいる。
悪くなっている	-	-	-